

第2学年美術科 学びのデザイン

日 時 平成27年11月17日(火) 5校時

場 所 第1美術室

学 級 2年1組(男子19名 女子18名 合計37名)

指導者 千田 敏文

1 題材名 『世界を魅了したきらめき —みんなで風神雷神図屏風を鑑賞しよう— 』

2 本時の目標 (1/1時間) B鑑賞

- (1) 日本美術に関心を持ち、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深める。
- (2) 作品に対する自分の価値意識をもって批評し合うなど作品を味わい、日本の美意識による感性によってこの作品をつくらせたことに気づいていく。

3 おもな授業の流れ

(1) 題材の主題と本時の学習課題をつかむ。

「世界を魅了したきらめき—みんなで風神雷神屏風を鑑賞しよう—」

風神雷神について「感じた事を話し合おう」を話し、学習課題をつかむ。

(2) 「風神雷神図屏風」を鑑賞し、表現方法やよさについて考える。 学習課題

「自分の目で見て感じたこと考えたことを大切に、みんなで作品について話しあおう」

ワークシートに記入しながら話し合う。 【小グループでの学び合い】

「感じた事の発言を自由にはなしながら、感想を自由に挙げさせていく」

(3) 表現の交流

「何が見えたかみんなの感想を聞かせてほしい」 「気づいたことをたくさん発表する」

(4) 作者の思いや表現について考える ジャンプの課題

「作品の外側の世界、風神雷神の関係について疑問を投げかける」

視点①姿や表情やかたち 視点②金地の中に神を描いた作者の心情を考える。

「なぜ、金地に神を描いたのだろう」

発言に対して情報を与えたり、部分に注目させたりする。

作者と作品についての概要を知らせることで、主題にせまる。

(5) 今日の授業で感じたことをワークシート(鑑賞文)に記入する。

4 指導にあたって

屏風をみて、さまざまな見方や考え方が出てくることで鑑賞を深め、主題に導いていく。また、誰かの感想に付け足したり、違う見方を発表したり、なぜそういう風に見えたのか根拠を示したりすることで、さらに絵の見方が広がってみると楽しさも味わう。

活動では、見る、話す、聴くことを主眼におき、書く活動は重視しない。

小グループ活動では、作品を間近でみるように個人に渡しグループで話し合わせる。

表現の場面で素直な考えや発見、気づきを評価するよう心がける。